

# ♪デュオ+ワン スプリングコンサート♪

～ピアノ連弾とヴァイオリンによる～

平成28年3月19日(土) 13時開場 13時半～15時

会場：穂の国とよはし芸術劇場 PLAT (アートスペース)

豊橋駅南 ☎ 39-8810

入場料：1000円 (小学生以下500円)

曲目：日本の四季より・上を向いて歩こう・情熱大陸 ※チャルダッシュ・他



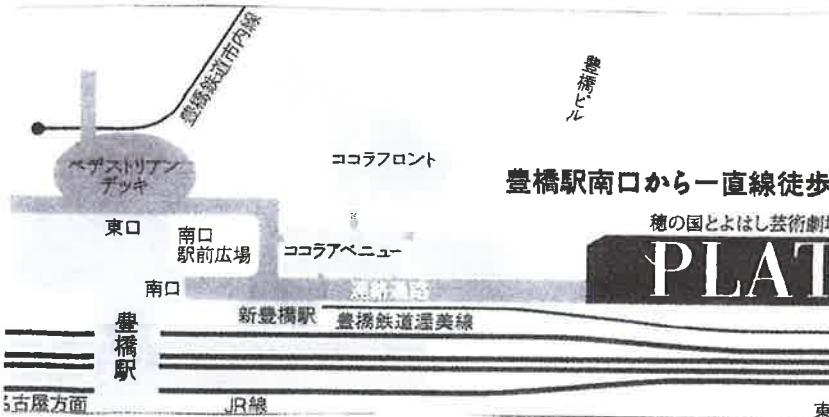
Coco Ange

内田有紀 夏目順子



濱島秀行

## 会場案内図



主催：かたつむりの会

問合せ：2

中日新聞

### 私の先生

2014年4月4日  
濱島 秀行

バイオリンの演奏と、音楽の力で人を健康に導く音楽療法の仕事をしています。認知症の患者さんの前で演奏することもあります。言葉でコミュニケーションを取るのには難しい方でも、膝をついて耳元で昔の童謡や唱歌を聞かせる、自然に歌を口ずさみ、涙を流す方が多いんです。

患者やお客さんの目線で演奏する大切さを教えてくれたのは、中部学院大(岐阜県関市)の認知症ケアのゼミで指導を受けた平林幹司教授です。私のバイオリンを心から愛してくれて、「音楽療法士になりたい」という夢を伝えると、真っ先に応援してくださいました。「君の音色は琴

### 演奏 聞き手の目線で

濱島秀行さん(36)

線に触れる。卒業したら、私の経営するデイケア施設で働いてほしい」と声をかけてくれました。

その施設ができたのは、私が大学を卒業して三年後。常勤の音楽療法士として働き始めました。思い出すのは、先生と往診をしていたある真夏の暑い日のことです。先生は自分の体の心配もせずに「今日は十五分ほど」と言い、どんな患者さんとも目線を合わせて、自分が納得いくまで診察

最近は大勢のお客さんが来るコンサートも増えました。私の原点は、あの病室でのコンサート。バイオリンを奏でるたびに、先生の顔が目に浮かびます。(聞き手・鈴木深平)

### バイオリニスト



はましま・ひでゆき 1979年、愛知県豊橋市出身。5歳でバイオリンを始め、2004年に岐阜県で音楽療法士の資格を取得。05年には、その演奏活動も始め、現在は年間150回以上コンサートに出演。モントレイの「チャールダッシュ」が十八番で、ジャンプや高速回転をしながら躍動感ある演奏を見せる。をしていた。

ですが私が働き始めて間もなく、先生は大腸がんで入院しました。病院に通い、個室の病室でバイオリンを弾くと、いつも涙を流してくれた先生。〇〇七年に古稀を迎えることなく亡くなりました。